

2021 年～ 2025 年に西播磨地域で確認した 兵庫県初記録及び県内で記録の少ない蛾類について

高橋弘樹¹⁾

はじめに

2024 年 10 月, 宇野宏樹・池田 大・阪上洗多の三氏により「兵庫県産蛾類分布記録データベース」(宇野ほか, 2024) (以下データベースと記載) が NPO 法人こどもとむしの会 HP において公開され, 兵庫県における蛾類各種の報告状況や根拠資料の通覧が可能となった。さらに宇野宏樹氏によって「兵庫県産蛾類の概観について」(宇野, 2024) が本誌 47(2) で発表されたことにより, 各種の分布や調査状況等の理解とその共有化がさらに深められただけでなく, 筆者のようにこれらによって示された各種の「分布の空白」を埋めたいという意欲を高められた方も多いのではないだろうか。

本稿では筆者が 2021 年から 2025 年 5 月までに兵庫県の西播磨地域(相生市, たつの市, 赤穂市, 宍粟市, 太子町, 上郡町, 佐用町)において採集・撮影した蛾類のうち, データベースに記載がなく, 兵庫県内において初記録とみられる種, 記録の少ない種, 記録された地点は少なくないものの発見地の近隣で未記録の種について報告する。なお, 採集・撮影者は特記したものを除き全て筆者であるため記載を省略する。また, 兵庫県内の記録については特記の無い限りデータベースにより, その情報は 2025 年 4 月 30 日時点のものである。県内に記録はあるが播磨地域全域で初記録の種には○を, 西播磨地域で初記録の種には☆を種名の右に付した。

各種資料

兵庫県において初記録とみられる種

マダラガ科

1. ヤホシホソマダラ *Balataea octomaculata* 図 1

1 ♀, 佐用町船越, 26. VI. 2021. : 10exs. 以上, 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 4. IX. 2021.

前翅は暗褐色, 黄色斑はキスジホソマダラに比べ短く明瞭。年 1～2 化で成虫は 6・8 月に出現。生息地は明るい草原で, 本州では特に湿地を好む。寄主植物はササ, タケ, ヌマガヤ(広渡ほか, 2013)。佐用町での記録は佐用町昆虫館来館者の少年が瑠璃寺仁王門横の広場で発見し, 当日の一日館長として採集に付き添っていた筆者が貰い受けたものである。その顚末は当

日の昆虫館公式ブログに記載しているが, 宇野 (2024) の勧めにより本稿で改めて報告する。採集地の広場は砂利敷きで周囲にはササが生えており, 隣接する高台は現在鹿柵を設置して植物を保護しているが, 当時は小規模な湿地が存在する荒地だった。宍粟市での記録はキャンプ場周辺の沢や湿地に囲まれた明るく背の低い草むらのもので, 草を踏み分けると何頭もの本種が驚いて飛び出してきた。

ヒラタマルハキバガ科

2. デコボコマルハキバガ *Depressaria irregularis* 図 2

1ex., 上郡町光都, 24. IX. 2021. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 24. III. 2023. : 1ex., 同地, 19. IV. 2025.

ライトトラップに飛来した。マエジロヒラタマルハキバガに似るが, 一回り大きく, 胸部背面, および前縁基部の Sc 脈より前縁部では前翅の他の部分よりやや橙褐色を帯びるが, 白色や淡褐色になることはない。また, 基部 1/10 に黒色の横帯は現れない(那須ほか, 2013) ことで識別できる。

ハマキガ科

3. ツマボシホソハマキ *Eupoecilia ingens* 図 3

1ex., 上郡町金出地, 22. V. 2024.

溪谷沿いに設置したライトトラップに飛来した。国内分布は本州～九州で寄主植物は不明(那須ほか, 2023)。本種は 2022 年に鈴木信也氏と神保宇嗣氏によって国内で初記録された種で, 鈴木信也氏に同定していただいた。鈴木氏が管理者の一人となっているウェブサイト「JP みくろもす(仮)」では, 経験則によるとの断りの上での沖縄島より北にのみ通用する近似種との識別点として, 前翅前縁の先端部に明瞭な黒点が存在すること, 前翅中央の帯は中央付近で曲がることはあるがブドウホソハマキのように後縁にかけて狭まることはないこと, 前翅の地色がブドウホソハマキ, アカオビホソハマキより淡く薄い色であることが挙げられている。

メイガ科

4. ミドリネグロフトメイガ *Stericta flavopuncta* 図 4

1 ♂ 1 ♀, 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 4-5. IX. 2021. : 1 ♂ 1 ♀, たつの市新宮町光都, 20. IX.

¹⁾ Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市

2021. : 1 ♀, 上郡町金出地, 2. IX. 2022.

全てライトトラップに飛来した。北海道, 本州, 対馬に分布。ネグロフトメイガと酷似するが前翅外側の黒褐色帯は狭く, 淡色なので, 外横線はより明瞭であること, 外横線の淡黄色帯による縁取りがやや明瞭(那須ほか, 2013)なことなどで区別される。

シャクガ科

5. シロシモフリエダシャク *Biston melacron* 図 5

2 ♂, 上郡町金出地, 30. III. 2024. : 1 ♂, 同地, 16. IV. 2025.

渓谷沿いに設置したライトトラップに飛来した。岸田(2011a)によると年 1 化で 4 ~ 5 月に出現し。国内分布は本州(広島県, 島根県), 四国(高知県), 九州, 対馬となっている。本種を含む春の蛾のいくつかは NPO 法人こどもとむしの会の「みんなでつなぐ初蝶リレー」に情報提供しており, 久保(2024)などで既に発表されているものもあるが, 本稿で改めて報告する。

6. キモンカバナミシャク *Eupithecia flavoapicaria* 図 6

1 ♀, 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 31. I. 2024. : 1 ♀, 相生市相生, 2. I. 2025.

羅漢の里では外灯, 相生ではウバメガシ林で糖蜜に飛来していたものを採集した。アキカバナミシャクと似るが, 本種は前翅前縁の黄色班が顕著なため野外でも同定は可能(小西・葉山, 2020)。また, 前翅後角付近の垂外縁帯内側の暗色班が目立つ(岸田, 2011a)。同書に「これまでに記録された産地は福岡県大牟田市と宮崎県の 2 か所だけで, 12 ~ 1 月にわずかな個体が採れているだけ」とあるが近年記録が増えており, 2020 年には奈良市で 9 個体が採集されている(小西・葉山, 2020)ほか, 山口県, 広島県, 徳島県, 大阪府などで撮影された画像がウェブ上で公開されている。

ヒトリガ科

7. クロバネヒトリ *Lemyra infernalis* 図 7

1 ♂, 宍粟市波賀町安賀, 2. VII. 2022.

♂の体と翅は黒色で無紋, 腹部は赤色。♀の翅は灰黄色で, 帯状の斑紋があるが個体変異が著しく, この斑紋が消失した個体もある(岸田, 2011b)。同書によると年 1 化で 7 ~ 8 月に出現し, 山地で得られるが少ない。夜遅く灯火に飛来することである。採集場所はコンビニで, 外灯に照らされた壁面に静止していた。筆者が立ち寄ったのはライトトラップの帰途で, 時刻は午前 1 時前だったと記憶している。



図 1. ヤホシホソマダラ, 佐用町, 2021/6/26.



図 2. デコボコマルハキバガ, 宍粟市, 2023/3/24.



図 3. ツマボシホソハマキ, 上郡町, 2024/5/22.

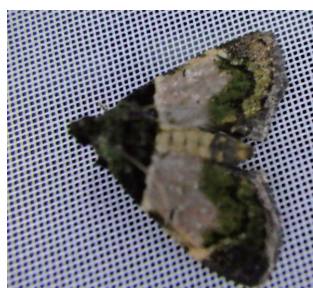


図 4. ミドリネグロフトメイガ, 上郡町, 2022/9/2.



図 5. シロシモフリエダシャク, 上郡町, 2024/3/30.

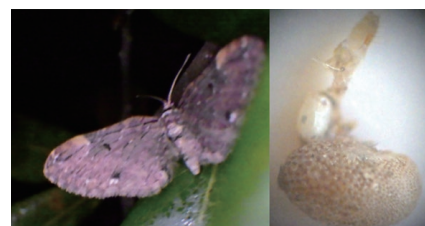


図 6. キモンカバナミシャク♀と交尾器, 相生市, 2025/1/2.



図 7. クロバネヒトリ, 宍粟市, 2022/7/2.



図 8. シタジロコバガ, 上郡町, 2022/11/12.



図 9. カパイロウスキョトウ, 上郡町, 2025/4/30.

コブガ科

8. シタジロコブガ *Nola infralba* 図 8

1ex., 上郡町金出地, 12. XI. 2022.

渓谷沿いに設置したライトトラップに飛来した。内横線はCuA2脈付近で鋭く屈曲し、屈曲点と外横線間は黒条で連結する。成虫は本州では5～6月と9～10月に出現。本州（千葉県以西）、伊豆諸島、小笠原諸島、四国、南西諸島に分布し（岸田, 2011b）、本県の近隣では大阪府大東市と四条畷市で撮影された画像がウェブサイト「北河内昆虫記」に多数掲載されている。

ヤガ科

9. カバイロウスキヨトウ *Sesamia confusa* 図 9

1♂, 上郡町山野里, 30. IV. 2025.

ため池の傍の、ススキが点在する背の低い草むらに設置したライトトラップに飛来した。頭部および頸板は黒褐色となり、他種と区別できる。寄主植物はススキ（岸田, 2011b）。高島（2002）は、「草原性の種であり、湿地との結びつきは弱い。年1回春に出現する。兵庫県での記録はないが、中央山地周辺の草原地帯に分布しているかもしれない。」と述べているが、標高80m程度の丘陵が採集地となった。

兵庫県で記録の少ない種及び発見地の近隣で未記録の種

コウモリガ科

10. キマダラコウモリ *Endoclyta sinensis* 図 10

1ex., 上郡町金出地, 12. VI. 2021. : 1ex., 同地, 13. VII. 2021.

ライトトラップに飛来した。飛来時刻は2例とも19時台だった。データベースでの記録は兵庫県南部・神戸市・川西市・宝塚市・丹波市・豊岡市・養父市・淡路市・南あわじ市となっている。

ヒラタマルハキバガ科

11. アケボノマルハキバガ *Agonopterix laterella* 図 11

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 4. XII. 2024. : 1ex., 相生市那波野 岩屋谷公園, 1. III. 2025.

羅漢の里では外灯、岩屋谷ではライトトラップに飛来した。兵庫県内の記録は上郡町高田台（大貝, 2018）のみである。

メスコバネキバガ科

12. メスコバネキバガ *Diurnea cupreifera* 図 12

1♀, 佐用町船越 佐用町昆虫館, 5. IV. 2025.

午前9時頃、佐用町昆虫館の外壁に静止していたものを採集した。成虫は早春に出現し、年1化。本科の成虫は昼飛性で、♂の翅は正常に発達するが、♀は短翅で飛ぶのに適しておらず、地表や樹幹部を歩行するのが観察されている（那須ほか, 2013）。宝塚市・養父市・丹波市で記録されている。

ハマキガ科

13. ナカジロハマキ *Acleris japonica* ☆ 図 13

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 30. X. 2021. : 1ex., 佐用町船越 佐用町昆虫館, 7. VIII. 2024.

ライトトラップに飛来した。顕著な季節型を示し、夏型では基半部が純白色、外側は茶褐色で全体にややまだら模様になる。越冬型では基半部の白色部はくすみ、外側は暗褐色で、全体に灰色の細線を密布する（那須ほか, 2013）。兵庫県内での記録は姫路市安富町 大河溪谷（高島, 2003）のみである。

14. クシヒゲムラサキハマキ *Terricula violetana* 図 14

1♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 24. IX. 2022. : 1♂, 同地, 22. IX. 2024.

ライトトラップに飛来した。前翅の地色は黒色で、全体に光沢のある青紫色の鱗粉を散らす（那須ほか, 2013）。神戸市・香美町で記録されている。

15. クロシオハマキ *Archips peratrata* 図 15

1♂, たつの市揖保川町黍田, 14. VI. 2021. : 1♂, 同地, 11. IV. 2022.

ライトトラップに飛来した。翅の色や斑紋は雌雄で大きく異なる。データベースでの記録は淡路島・南あわじ市となっている。

16. シロテンアカマダラヒメハマキ *Gatesclarkeana idia* 図 16

1ex., 上郡町金出地, 3. X. 2022. : 1ex., 同地, 14. X. 2022. : 1ex., たつの市新宮町光都, 3. XI. 2023.

ライトトラップに飛来した。前翅は幅広く、赤褐色で中央付近に小白点をもつ。サッポロヒメハマキと類似するがこの白点を有するため識別できる。国内分布は九州、四国、沖縄（那須, 2022）となっているが、大阪府や愛知県で撮影された画像がウェブ上で公開されている。兵庫県内でも相生市 羅漢の里（高橋, 2023b）で記録されている。

17. シロテンシロアシヒメハマキ *Phaecaasiophora obrastsovi* ☆ 図 17

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 3. IX. 2023.

外灯に飛来していた。オオシロアシヒメハマキに類似するが、より小さく、前翅はより濃色、前縁中央から後縁に幅広い地色の帯が明瞭。翅頂部は黄褐色で数本の黒い細線をもつ。類似するコモンアシトヒメハマキはこの黒線が2～3本と少ない（那須, 2024）。宝塚市・姫路市で記録されている。

18. スイカズラホソバヒメハマキ *Lobesia coccophaga*

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 18. IX. 2023.

外灯に飛来していた。幼虫はスイカズラなどの新芽や花を摂食する（那須, 2024）。上郡町・南あわじ市で記録されている。

19. マエモンマダラカギバヒメハマキ *Ancylis amplimacula* 図 18

1ex., 上郡町山野里, 30. IV. 2025.

ライトトラップに飛来した。国内分布は本州, 四国, 対馬で, 成虫は5~7月に採集されている(那須, 2022)。兵庫県内の記録は相生市 羅漢の里(高橋, 2023a)のみである。

20. ヒノキカワモグリガ *Coenobiodes granitalis* ○ 図 19

1♂ 1♀, 佐用町櫛田, 24. VI. 2023.

ライトトラップに2個体が飛来し, 器材の上で交尾を行った。寄主植物はヒノキ, ニオイヒバ, スギで, 幼虫ははじめ針葉に潜るが, その後枝の分岐部, 主枝基部と順次移動していく(那須, 2021)。宝塚市・丹波市・南あわじ市で記録されている。

21. クロマダラシロヒメハマキ *Epinotia exquisitana* ○ 図 20

1♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024.

ライトトラップに飛来した。寄主植物はヤマザクラ, ナナカマドなど(那須ほか, 2023)。神戸市・南あわじ市で記録されている。

22. ニセマツアカヒメハマキ *Rhyacionia pinivorana* ○ 図 21

2exs., たつの市新宮町光都, 23. V. 2022.: 1ex., 上郡町金出地, 31. V. 2023.

ライトトラップに飛来した。前翅はくすんだ褐色で, 4~5本の鉛色波状横線をもつが, 二重で細く, 光沢が強くない(那須, 2021)。兵庫県内の記録は南あわじ市のみである。

ニジュウシトリバガ科

23. マダラニジュウシトリバ *Alucita spilodesma*

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 30. VII. 2022.

ライトトラップに飛来した。神戸市・上郡町・南あわじ市で記録されている。

マドガ科

24. チビマダラマドガ *Rhodoneura erecta*

1ex., 上郡町金出地, 10. VIII. 2021.: 1♀, 同地, 2. IX.

2022.: 1♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 18. VI. 2022.

ライトトラップに飛来した。相生市・洲本市・南あわじ市で記録されている。

メイガ科

25. ニシキシマメイガ *Mimicia pseudolibatrix* ○ 図 22

1♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VIII. 2024.

ライトトラップに飛来した。年2化と思われ, 成虫は6~9月に得られているがまれな種(那須ほか, 2013)とされる。兵庫県内の記録は香美町のハチ北高原(阪上ほか, 2020)の

みである。

26. クシヒゲシマメイガ *Sacada approximans* ☆

1♀, 上郡町金出地, 10. VII. 2021.: 1♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 17. VII. 2022.

上郡町では林内, 宍粟市では湖畔でのライトトラップに飛来した。神戸市・宝塚市・猪名川町・西脇市・市川町・丹波市・南あわじ市で記録されている。

27. キイフトメイガ *Lepidogma kiiensis* ☆

1♀, 上郡町光都, 17. VII. 2021.: 1♂, たつの市新宮町光都 兵庫県西播磨総合庁舎付近, 13. VII. 2022.

播磨科学公園都市の2か所でライトトラップに飛来した。西脇市・丹波市・南あわじ市で記録されている。

ツトガ科

28. シナミズメイガ *Elophila sinicalis* ○ 図 23

1♂, 佐用町船越, 7. VIII. 2024.

佐用町昆虫館の事業「昆虫学園中等部」の一環として瑠璃寺仁王門横の高台で実施したライトトラップに飛来し, 筆者が採集した。寄主植物はウキクサ, トチカガミで, 幼虫は寄主の2葉片でやや扁平な筒巣をつくり, 水面上に生息する(那須ほか, 2013)。兵庫県内の記録は南あわじ市(旧南淡町)阿万東町(藤平, 2002)のみである。

29. クロテンシロミズメイガ *Parapoynx diminutalis* 図 24

1♀, 上郡町金出地, 13. VII. 2021.: 1♂, 同地, 16. IX. 2022.: 1♂, 同地, 9. X. 2024.: 1♂, たつの市新宮町光都, 13. IX. 2021.: 1♂, 同地, 10. X. 2022.

川沿いに設置したライトトラップに飛来した。本州, 九州, 沖縄諸島, 八重山に分布(那須ほか, 2023)し, 幼虫はトチカガミや他のイネ科を含む水生植物(未同定)にも寄生(那須ほか, 2013)する。兵庫県内の記録は相生市 羅漢の里のみである(高橋, 2023a)。

30. オオワタノメイガ *Haritalodes basipunctalis* ○ 図 25

1♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 18. VI. 2022.: 1♂, 同地, 30. VII. 2022.: 1♀, 同地, 31. VIII. 2024.

ライトトラップに飛来した。ワタノメイガに酷似すること, 大型で, 前翅基部の黒褐色斑点がやや顕著であること, 後翅の垂外縁線は太く, 外縁にほぼ平行に走り, 鋸歯状をなさないことなどで区別される(那須ほか, 2013)。兵庫県内の記録は神戸市北区のみである。

31. キササゲノメイガ *Sinomphisa plagialis* ☆ 図 26

1♂, 上郡町金出地, 5. VIII. 2021.: 1♂, 同地, 24. VI. 2022.

ライトトラップに飛来した。市川町・洲本市で記録されている。

32. ウスベニオオノメイガ *Uresiphita prunipennis* ☆

1 ♂, たつの市新宮町牧 牧運動公園, 23. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. 寄主植物はクララ. 年2化. 成虫は4~8月に得られるが少ない(那須ほか, 2013)とされる.
猪名川町・西脇市・南あわじ市で記録されている.

カギバガ科

33. ホシベッコウカギバ *Deroa inconclusa*

1 ♀, 上郡町金出地, 12. VI. 2021. : 1 ♂, 同地, 19. VII. 2021. : 1 ♀, 同地, 18. X. 2021.
ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・多可町・宍粟市・朝来市・豊岡市・養父市・丹波市で記録されている.

シャクガ科

34. キスジシロエダシャク *Orthocabera sericea* ○ 図 27

1ex., 上郡町金出地, 24. VI. 2022. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024. : 1ex., 宍粟市千種町河内, 5. V. 2025.
いずれもライトトラップに飛来した. 国内では本州, 伊豆諸島, 四国, 九州, 屋久島に分布し, 日本海側ではブナ帯にも生息する(岸田, 2011a). 兵庫県内では新温泉町の扇ノ山の1984年の記録(谷田, 1986)が唯一のものだった. なお, 筆者は2022年に新温泉町でも確認しているので下記のとおり報告する.
1ex., 新温泉町海上上山高原, 3. V. 2022.

35. ホシスジシロエダシャク *Myrteta punctata*

1 ♂, 上郡町金出地, 10. VIII. 2021. : 1 ♀, 同地, 31. V. 2023. : 1 ♀, 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 19. VI. 2021.
ライトトラップに飛来した. 宍粟市・養父市で記録されている.

36. ニッコウキエダシャク *Pseudepione magnaria* ☆

1ex., 上郡町金出地, 28. X. 2022.
ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・西脇市・南あわじ市で記録されている.

37. シロズエダシャク *Ecpetelia albifrontaria*

1 ♀, 上郡町金出地, 4. V. 2021. : 1 ♀, たつの市新宮町光都 兵庫県西播磨総合庁舎付近, 22. IV. 2022. : 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 28. IV. 2023. : 1 ♀, 同地, 19. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. 佐用町・豊岡市・丹波市で記録されている.

38. ウスネズミエダシャク *Isturgia vapulata* ○ 図 28

1 ♂, 相生市ひかりが丘, 28. IV. 2021. : 1 ♀, 上郡町金出地, 31. VII. 2021. : 1 ♀, たつの市新宮町光都, 9. IX. 2021. : 1 ♀, 同地, 9. VII. 2022.
相生市では住宅の窓明かり, その他はライトトラップに飛来し

た. 宝塚市・養父市・丹波市で記録されている.

39. シロジマエダシャク *Euryobeidia languidata* ○ 図 29

1ex., 上郡町金出地, 10. VII. 2021.
ライトトラップに飛来した. 西宮市・南あわじ市で記録されている.

40. ナミスジエダシャク *Racotis petrosa* ○ 図 30

1ex., 上郡町金出地, 5. VIII. 2022. : 1ex., 同地, 30. III. 2024. : 1 ♂, 宍粟市千種町河内, 5. V. 2025.
ライトトラップに飛来した. 丹波市・南あわじ市で記録されている.

41. キリバエダシャク *Ennomos nephotropa* ☆

1 ♀, 上郡町光都, 17. VII. 2021. : 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 2. X. 2021. : 1 ♀, 同地, 3. VIII. 2024.
ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・姫路市・神河町・養父市で記録されている.

42. キイロミミモンエダシャク *Eilicrinia parvula* ○ 図 31

1ex., たつの市揖保町揖保上, 28. IV. 2022. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VIII. 2024.
ライトトラップに飛来した. 1化の個体は黄色みが弱い. 対馬ではかなり普通種だが, 他の地域では産地が限られている(岸田, 2011a). 伊丹市・南あわじ市で記録されている.

43. ウスムラサキエダシャク *Selenia adustaria* ☆ 図 32

1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 21. V. 2022.
ライトトラップに飛来した. 神河町・養父市で記録されている.

44. ナシモンエダシャク *Garaeus mirandus* ☆ 図 33

1 ♂, 佐用町船越 佐用町昆虫館, 7. VIII. 2024.
昆虫館敷地内に設置したライトトラップに飛来した. データベースでの記録は兵庫県・兵庫県西部・姫路市となっている.

45. クロバネフユシャク *Alsophila foedata*

1 ♂, 上郡町光都 光都バスターミナル, 7. I. 2022. : 3 ♂, 上郡町金出地, 29. I. 2022.
光都では夜間, 擬木の案内板に♂単体で静止, 金出地ではライトトラップに飛来した. 相生市・福崎町で記録されている.

46. ホシシャク *Naxa seriaria* ○ 図 34

1 ♀, 上郡町金出地, 2. VII. 2021.
ライトトラップに飛来した. 年1化. 昼飛性だが夜間に灯火にも飛来する(岸田, 2011a). 神戸市・丹波市・南あわじ市で記録されている.

47. フタツメオオシロヒメシャク *Problepsis albidior* ○
図 35
1 ♂, 上郡町金出地, 16. IX. 2022.
ライトトラップに飛来した. 宝塚市・西宮市・淡路市・南あわじ市で記録されている.
48. ウススジオオシロヒメシャク *Problepsis plagiata* ○
図 36
1 ♀, 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 20. VI. 2021. : 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 31. VIII. 2024.
ライトトラップに飛来した. 兵庫県内では丹波市の妙高山の記録のみで (宇野, 2024), 1954 年のものである (山本, 1997).
49. アヤコバネナミシャク *Acasis bellaria* ○ 図 37
1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 19. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. 前翅後縁部に大きな白斑が生じる. 全国的に分布するが, 局地的で非常にまれ (岸田, 2011a) とされる. 兵庫県内の記録は南あわじ市のみである.
50. シロテンコバネナミシャク *Trichopteryx grisearia* ○
図 38
1ex, 上郡町金出地, 1. IV. 2023. : 1ex, 同地, 30. III. 2024. : 1 ♂ 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 8. IV. 2023. : 2exs., 同地, 19. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. 比較的浅い山地に産するが少ない (岸田, 2011a) とされる. 兵庫県内の記録は相生市 羅漢の里 (高橋, 2023a) のみである.
51. シロシタコバネナミシャク *Trichopteryx fastuosa* ○
図 39
1 ♂ 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 19. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. 全国的に低山地から山地に産し, 比較的普通 (岸田, 2011a) とされるが, 兵庫県内の記録は豊岡市のみである.
52. チャマダラコバネナミシャク *Trichopteryx nagaii*
1ex, 宍粟市波賀町鹿伏, 8. IV. 2023.
ライトトラップに飛来した. 本州では関東地方以西の山地に産するが, あまり多くない (岸田, 2011a) とされる. 神戸市・相生市で記録されている.
53. ウスミドリコバネナミシャク *Trichopteryx miracula*
1ex., たつの市新宮町光都 栗ノ木谷公園, 21. III. 2022. : 3exs., 上郡町金出地, 11. III. 2023. : 3exs., 同地, 21. III. 2025. : 3exs., 宍粟市波賀町鹿伏, 24. III. 2023.
ライトトラップに飛来した. 神戸市・相生市・南あわじ市で記録されている.
54. クロオビシロナミシャク *Trichopteryx ustata* ☆ 図 40
1 ♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 19. IV. 2025.
ライトトラップに飛来した. ホソクロオビシロナミシャクと似るが, 本種の前翅の内横線は後縁に対して斜めに走る (岸田, 2011a). 兵庫県内の記録は神河町 砥峰高原 (高島, 2003) のみである.
55. キンオビナミシャク *Electrophaes corylata* ☆
1ex, 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 20. VI. 2021. : 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 21. V. 2022.
ライトトラップに飛来した. データベースでの記録は兵庫県西部・姫路市・豊岡市・養父市となっている.
56. フタシロスジナミシャク *Epirrhoe supergressa* ○
図 41
2exs., 宍粟市波賀町鹿伏, 21. V. 2022. : 1ex., 同地, 17. IX. 2022. : 1ex., 同地, 26. VII. 2023. : 1ex., 同地, 31. VIII. 2024.
ライトトラップに飛来した. 全国的に低山地から山地に広く分布し, 普通に産する (岸田, 2011a) とされる. 上記地点では飛来頻度が高い. 養父市・淡路市で記録されている.
57. オオネグロウスベニナミシャク *Photoscotosia lucicolens* 図 42
1 ♂, 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 25. XI. 2024.
外灯に飛来していた. 岸田 (2011a) によると, 本種は 1986 年にネグロウスベニナミシャクから分離された種で, 翅表の色彩・斑紋ではネグロウスベニエダシャクとほとんど見分けがつかないことが多い. 最も確実な識別点は前翅裏面の外横線の状態で, 本種は前縁部でより太くなり, 大きな黒色斑になる. 全国的に分布し, 各地でごく普通とされる. データベースでの本種の記録は宍粟市付近・養父市付近となっている.
58. トビモンシロナミシャク *Plemyria rubiginata* ○
図 43
1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024.
ライトトラップに飛来した. 養父市・丹波市で記録されている.
59. ミドリアキナミシャク *Epirrita viridipurpurescens*
1ex., 上郡町金出地, 21. XII. 2021. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 10. XI. 2022. : 2exs., たつの市新宮町光都 栗ノ木谷公園, 10. XII. 2022.
ライトトラップ及び糖蜜トラップに飛来した. 宝塚市・西宮市・相生市で記録されている.
60. ナナスジナミシャク *Venusia phasma* ○ 図 44
1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 30. IX. 2022. : 1ex., 佐用町大畑, 20. X. 2022.

ライトトラップに飛来した。年1化の秋の蛾(岸田, 2011a)。
神戸市・養父市で記録されている。

61. チビヒメナミシヤク *Hydrelia shioyana* ○ 図 45

1ex., 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 19. VI. 2021.

ライトトラップに飛来した。北海道, 本州に分布し, 関東地方周辺では主として低山地に分布する(岸田, 2011a) のことである。兵庫県内の記録は丹波市のみである。

62. セグロナミシヤク *Laciniodes unistirpis*

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 18. VI. 2022. : 1ex., 同地, 21. VIII. 2022.

ライトトラップに飛来した。神戸市・相生市・丹波市で記録されている。

63. フトオビヒメナミシヤク *Eupithecia gigantea* ☆ 図 46

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 21. VIII. 2022. : 1ex., 同地, 31. VIII. 2024. : 1ex., 佐用町船越 佐用町昆虫館, 7. VIII. 2024.

ライトトラップに飛来した。兵庫県内の記録は神戸町 砥峰高原(八木ほか, 2003) のみである。

64. ナカオビカバナミシヤク *Eupithecia subbreviata* ○ 図 47

1 ♀, 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 26. III. 2025. : 1 ♀, 上郡町金出地, 16. IV. 2025. : 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 19. IV. 2025.

羅漢の里では外灯, その他はライトトラップに飛来したものを採集し, 検鏡した。宝塚市・淡路市・南あわじ市で記録されている。

65. ヒコサンカバナミシヤク *Eupithecia antivulgaria* ○ 図 48

1 ♀, 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 9. XII. 2023. : 1 ♀, 同地, 22. I. 2024. : 1 ♀, 同地, 15. II. 2024. : 2 ♀, 同地, 1. III. 2025. : 1 ♀, 上郡町金出地, 30. XII. 2024. : 1 ♀, 相生市相生, 2. I. 2025. : 1 ♂, 同地, 14. II. 2025. : 1 ♀, 相生市那波野 岩屋谷公園, 27. II. 2025.

上郡町ではライトトラップ, 羅漢の里では外灯, 相生ではウバメガシ林内での糖蜜とライトトラップ, 岩屋谷では糖蜜に飛来したものを採集し, 検鏡した。羅漢の里では12月上旬~3月上旬まで見られ, 個体数も多かった。♂のバルバの形状は特異で, エデアグスは太くて長い。♀のコルプス・ブルサエは細長く, 右側がふくらむ(岸田, 2011a)。兵庫県内の記録は川西市黒川(高島, 1998) のみである。

66. マスイカバナミシヤク *Eupithecia pusillata* ○ 図 49

1 ♂, 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 26. X. 2023.

外灯に飛来したものを採集, 検鏡した。晩秋の蛾で, 10~11月に出現するが, 分布は局所的で個体数も非常に少ない(岸田, 2011a) とされる。兵庫県内の記録は南あわじ市のみである。

67. ヨホシナミシヤク *Eupithecia costimaculata* ○ 図 50

1 ♂ 2 ♀ 1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 19. II. 2024. : 1 ♂, 同地, 2. IV. 2024. : 1 ♂, 相生市那波野 岩屋谷公園, 27. II. 2025.

羅漢の里では外灯, 岩屋谷では糖蜜に飛来した。昼間活動するが灯火にも飛来。年1化, 春の蛾(岸田, 2011a) である。兵庫県内の記録は南あわじ市のみである。

68. マダラアオナミシヤク *Pasiphila hypopyrrha* ☆

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. IX. 2022.

ライトトラップに飛来した。神戸市・神河町・養父市で記録されている。

69. テングナミシヤク *Collix stellata* 図 51

1ex., 上郡町金出地, 27. IX. 2021.

ライトトラップに飛来した。国内の分布は本州(三重県, 大阪府, 広島県, 山口県), 四国, 九州, 種子島, 屋久島(岸田, 2011a) で, 2024年12月に岡山県でも初めて確認されたことが朝日新聞で報道された。兵庫県内での記録は相生市 羅漢の里(高橋, 2023a) のみである。

カレハガ科

70. ウズミカレハ *Poecilocampa tamanukii*

1 ♂ 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 19. XI. 2022.

ライトトラップに飛来した。神戸市・宝塚市・相生市・上郡町・豊岡市・養父市で記録されている。

ヤママユガ科

71. クロウスタビガ *Rhodinia jankowskii*

1 ♂, 上郡町金出地, 4. XI. 2021.

ライトトラップで採集したが当地での飛来はこの1回のみである。データベースでの記録は西播磨・宍粟市・神河町・養父市となっている。

シャチホコガ科

72. クシヒゲシャチホコ *Ptilophora nohirae* ○ 図 52

1 ♂, 上郡町金出地, 24. XII. 2021. : 4 ♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 25. XI. 2022.

ライトトラップに飛来した。宝塚市・豊岡市で記録されている。

ヒトリガ科

73. ウスクロスジチビコケガ *Stictane obscura* 図 53

1ex., たつの市新宮町光都, 21. VIII. 2021.: 1ex., 上郡町金出地, 31. V. 2023.

ライトトラップに飛来した. 兵庫県内での記録は相生市 羅漢の里 (高橋, 2023b) のみである.

74. ウスグロコケガ *Siccia obscura*

1ex., たつの市新宮町光都, 2. VIII. 2021.: 1ex., 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 4. IX. 2021.

ライトトラップに飛来した. 相生市・上郡町で記録されている.

75. クロテンシロコケガ *Aemene fukudai* 図 54

1 ♀, 上郡町金出地, 13. VII. 2021.: 1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 30. VII. 2022.

ライトトラップに飛来した. 本州, 四国に分布するが産地は局地的でまれな種 (岸田, 2011b) とされる. 相生市・丹波市で記録されている.

76. クシヒゲホシオビコケガ *Aemene altaica* 図 55

1ex., 宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 19. VI. 2021.: 1ex., 佐用町船越 佐用町昆虫館, 18. IX. 2021.: 1ex., たつの市新宮町光都, 6. VI. 2022.: 1ex., 上郡町金出地, 15. VIII. 2022.

佐用町昆虫館のものは 16 時頃に外壁に静止している個体を発見, それ以外はライトトラップに飛来した. かつてホシオビコケガとして扱われていた種が 2018 年に本種と次種に分離されたもので, 明確に区別・同定されている近年の記録としては相生市 羅漢の里 (高橋, 2023b) がある (宇野, 2024).

77. クシナシホシオビコケガ *Aemene takahashii* 図 56

1ex., たつの市新宮町光都, 16. VIII. 2021.: 1ex., 上郡町金出地, 26. VI. 2024.: 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024.

ライトトラップに飛来した. 前種との外見での識別点として, 岸田 (2018) では亜外縁の黒点列のうち M2 室のものが小さな 2 黒点で, ♂ の触角が櫛歯状ではないこと, 横田 (2023) では前胸背の黒点が前種の 2 つに対し, 本種では 3 つあることが挙げられている. 相生市 羅漢の里 (高橋, 2023b) で記録されている.

78. モンクロベニコケガ *Stigmatophora rhodophila*

1ex., 上郡町金出地, 13. VII. 2021.: 1ex., 同地, 23. VIII. 2024.: 1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 24. VI. 2024. 上郡町ではライトトラップ, 相生市では外灯に飛来した. 西宮市・芦屋市・多可町付近・姫路市・佐用町・豊岡市・養父市・丹波市・南あわじ市で記録されている.

79. ハガタキコケガ *Mitochrista calamina* ☆

1ex., たつの市新宮町光都, 9. IX. 2021.: 1ex., 宍粟市波

賀町鹿伏, 21. VIII. 2022.

ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・西宮市・三田市・川西市・西脇市・養父市・丹波市・淡路市・南あわじ市で記録されている.

ヒトリモドキガ科

80. イチジクヒトリモドキ *Asota ficus* ☆ 図 57

1 ♀, たつの市揖保町揖保上, 29. V. 2021. 三村剣義.

ライトトラップに飛来したものを同行の三村剣義氏が採集した. 標本は筆者が保管している. 西宮市・姫路市で記録されている.

コブガ科

81. ナミコブガ *Nola nami* ○ 図 58

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 21. V. 2022.: 1ex., 同地, 28. IV. 2023.: 1ex., 同地, 19. IV. 2025.: 1 ♀, 宍粟市千種町河内, 5. V. 2025.

ライトトラップに飛来した. 前翅は淡褐色を帯びた白色. 各横線や斑紋は茶褐色 (岸田, 2011b). 兵庫県内の記録は養父市のみである.

82. フタモンコブガ *Nola exumbrata* 図 59

1ex., 上郡町金出地, 22. V. 2024.

ライトトラップに飛来した. 兵庫県内の記録は相生市 羅漢の里 (高橋, 2023a) のみである.

83. シメキクロコブガ *Meganola shimekii*

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 2. X. 2021.: 1ex., 同地, 3. VII. 2024.: 1ex., 同地, 31. VIII. 2024.

ライトトラップに飛来した. 川西市・相生市・南あわじ市で記録されている.

84. イナズマコブガ *Meganola triangularis* 図 60

1 ♂, 上郡町金出地, 7. VIII. 2021.: 1 ♂, 同地, 31. V. 2022.: 2exs., 同地, 14. X. 2022.

ライトトラップに飛来した. 兵庫県内の記録は相生市 羅漢の里 (高橋, 2022) のみである.

85. オオマエモンコブガ *Hampsonola gigantoides* ○ 図 61

1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 30. VII. 2022.: 1 ♂, たつの市新宮町光都 兵庫県西播磨総合庁舎, 21. V. 2025.

宍粟市ではライトトラップに飛来, 上郡町では日中に庁舎内で採集した. 岸田 (2011b) での分布は本州 (東北地方, 中部地方, 北陸地方) となっている. 兵庫県内では養父市の複数の場所で記録されている.

86. ウスアオリング *Paracrama angulata* ○ 図 62

1 ♂, たつの市新宮町光都, 9. VII. 2022.: 1 ♂, 上郡町金出地,

15. VIII. 2022. : 2exs., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024.
ライトトラップに飛来した. データベースでの記録は神戸市・
宝塚市・伊丹市・養父市・淡路島・淡路市・洲本市・南あわじ
市となっている.

ヤガ科

87. ヒメエビイロアツバ *Maguda suffusa*

1ex., 上郡町金出地, 15. VIII. 2022. : 1ex., 佐用町櫛田, 24. VI.
2023. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 3. VII. 2024.
ライトトラップに飛来した. データベースでの記録は三田市・
相生市・淡路島・洲本市・南あわじ市となっている.

88. シマアツバ *Hepatica linealis*

1ex., 上郡町金出地, 3. VI. 2022. : 1ex., 同地, 26. VI.
2024. : 1ex., たつの市新宮町光都 兵庫県西播磨総合庁舎付近,
13. VII. 2022.
ライトトラップに飛来した. 相生市・丹波市で記録されている.

89. ハスオビヒメアツバ *Schrankia separatalis*

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 29. IV. 2023.
外灯に飛来していた. 上郡町・丹波市で記録されている.

90. フタスジシマコヤガ *Corgatha marumoi*

1ex., 上郡町金出地, 11. IX. 2021. : 1ex., たつの市新宮
町光都 兵庫県西播磨総合庁舎付近, 13. VII. 2022.
ライトトラップに飛来した. 宝塚市・相生市で記録されている.

91. キスジハナオイアツバ *Cidariplura bilineata* ○ 図 63

1 ♂, 上郡町金出地, 12. VI. 2021. : 1 ♂, 同地, 23. IX.
2023. : 1 ♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 17. VII. 2022. : 1 ♂, 同地,
17. IX. 2023.
ライトトラップに飛来した. 森林の発達した暗い環境で得られ
るが少ない(岸田, 2011b) とされる. 養父市・丹波市で記録
されている.

92. オビアツバ *Paracolax fascialis* ○ 図 64

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 19. VIII. 2022.
ライトトラップに飛来した. 神戸市・養父市で記録されている.

93. コシロシタバ *Catocala actaea*

1 ♀, 上郡町光都, 17. VII. 2021. : 1ex., たつの市揖保川町黍田,
4. X. 2021.
ライトトラップに飛来した. データベースでの記録は神戸市・
神戸阪神・宝塚市・猪名川町・川西市・加西市・小野市・三木
市・姫路市・佐用町・淡路・淡路市・洲本市となっている.

94. ユミモンクチバ *Melapia electaria* ☆

1 ♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 21. V. 2022. : 1 ♀, 同地, 17. VII.

2022.

ライトトラップに飛来した. 多可町付近・養父市・香美町・丹
波市で記録されている.

95. ナカグロクチバ *Grammodes geometrica* ○ 図 65

1 ♀, たつの市揖保川町新在家, 6. VII. 2021. : 1ex., たつ
の市新宮町北村, 4. X. 2021.
揖保川町の個体は夜間に訪花, 新宮町の個体はライトトラップ
に飛来した. 日本本土域では偶産と考えられるが, 一時的な発
生を繰り返すことも知られている(岸田, 2011b). データベ
ースでの記録は兵庫県・神戸市・三田市・南あわじ市となっている.

96. ヤマトホソヤガ *Lophoptera hayesi*

1ex., 上郡町金出地, 4. V. 2021. : 1ex., 同地, 2. VII.
2021. : 1ex., 同地, 21. X. 2023. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏,
2. X. 2021.
ライトトラップに飛来した. 宝塚市・猪名川町・相生市・南あ
わじ市で記録されている.

97. ミドリシロモンコヤガ *Koyaga virescens* ☆ 図 66

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 17. IX. 2023.
ライトトラップに飛来した. 姫路市・香美町で記録されている.

98. サビイロヤガ *Amyna stellata*

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 24. X. 2023.
外灯に飛来していた. 神戸市・尼崎市・川西市・神河町・宍粟
市・西脇市・豊岡市・養父市・佐用町・丹波市・淡路市・南あ
わじ市で記録されている.

99. ウズズミケンモン *Acronicta carbonaria*

1 ♀, たつの市新宮町光都 栗ノ木谷公園, 5. IV. 2022. :
1ex., たつの市揖保川町黍田, 9. IV. 2022.
国内では本州・四国・九州に分布し, 局地的でまれ(岸田
2011b) とされる. 新宮町では糖蜜トラップ, 揖保川町ではラ
イトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・佐用町で記録され
ている.

100. マエグロシラオビアカガネヨトウ *Phlogophora albovittata*

1 ♀, たつの市新宮町光都, 9. IX. 2021. : 1 ♂, 宍粟市
波賀町鹿伏, 30. X. 2021 : 2exs., 上郡町金出地, 3. VI.
2022.
ライトトラップに飛来した. 初夏から真冬まで各地で頻繁に飛
来する. 神戸市・宝塚市・西宮市・相生市・養父市・南あわじ
市で記録されている.

101. アオフシラクモヨトウ *Antapamea conciliata*

2exs., 佐用町円光寺 笹ヶ丘公園, 5. VI. 2021. : 2exs.,

宍粟市一宮町東公文 ろくろしの森キャンプ場, 19-20. VI. 2021. : 1ex., たつの市揖保川町黍田, 15. VI. 2022. ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・川西市・上郡町・丹波市・南あわじ市で記録されている.

102. ショウブヨトウ *Amphipoea ussuriensis* ☆

1 ♀, 宍粟市波賀町鹿伏, 17. VII. 2022. : 1ex., 同地, 3. VIII. 2024. ライトトラップに飛来した. 神戸市・猪名川町・神河町・朝来市・豊岡市・養父市・香美町で記録されている.

103. ゴボウトガリヨトウ *Gortyna fortis*

1 ♂, 上郡町金出地, 14. X. 2022. : 1 ♂, 宍粟市波賀町安賀, 29. X. 2022. 上郡ではライトトラップ, 宍粟では外灯に飛来した. 神戸市・川西市・神河町・養父市・佐用町で記録されている.

104. プライヤオビキリガ *Dryobotodes pryeri*

1ex., 相生市矢野町瓜生 羅漢の里, 7. XI. 2023. 外灯に飛来していた. 川西市・神河町・宍粟市で記録されている.

105. ヤクシマキリガ *Mesorhynchaglaea pacifica*

1 ♂ 2 ♀ 3exs., 相生市相生, 2. I. 2025. : 2exs., 同地, 14. II. 2025. ; 1 ♀ 3exs., 同地, 28. II. 2025. ウバメガシ林での糖蜜トラップ及びライトトラップに飛来した. 神戸市・たつの市・南あわじ市で記録されている.

106. スミレモンキリガ *Sugitania akirai* ○ 図 67

1 ♀, 上郡町金出地, 26. XI. 2022. ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・朝来市・丹波篠山市で記録されている.

107. ヨモギキリガ *Orthosia ella* ☆

1 ♂, たつの市揖保町揖保上, 13. III. 2025. 河川敷の糖蜜トラップで採集したが, 翅が完全に乾ききっておらず, たまたま近くで羽化した個体だった可能性がある. 神戸市・宝塚市・市川町・神河町で記録されている.

108. オオノコバヨトウ *Tiracola aureata* ○ 図 68

1ex., たつの市新宮町光都, 13. IX. 2021. : 1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 31. VIII. 2024. ライトトラップに飛来した. 兵庫県内の記録は香美町 東鉢伏高原 (坪田・高橋, 2021 : 高橋輝男, 2023) のみである.

109. カバフクロテンキヨトウ *Mythimna salebrosa*

1ex., 宍粟市波賀町鹿伏, 18. VI. 2022. ライトトラップに飛来した. 神戸市・宝塚市・相生市・西脇市・養父市・丹波市・南あわじ市で記録されている.

110. スジグロキヨトウ *Mythimna nigrilinea* ☆

1ex., 上郡町光都, 13. IX. 2021. : 1ex., たつの市新宮町光都 栗ノ木谷公園, 25. IV. 2022. : 1ex., 佐用町大畑, 20. X. 2022. ライトトラップに飛来した. データベースでの記録は兵庫県南部・宝塚市・猪名川町・神河町・丹波市・南あわじ市となっている.

111. マエジロアカフキヨトウ *Mythimna pallidicosta* ☆ 図 69

1 ♂, 宍粟市波賀町鹿伏, 25. XI. 2022. ライトトラップに飛来した. 市川町・養父市で記録されている. 兵庫県において偶産蛾と思われる種 (宇野, 2024) とされる.

以上 111 種を報告する. 兵庫県内で初記録の種が 9 種, 播磨地域全域で初記録の種が 37 種, 西播磨地域で初記録の種が 22 種である.

謝辞

末筆ながら, 原稿作成にあたってご助言くださった八木 剛氏, 本稿作成のきっかけを作ってくくださった宇野宏樹氏, 池田 大氏, 阪上洗多氏, ツマボシホソハマキの同定をしてくださった鈴木信也氏, 資料の入手についてお力を貸していただいた末宗安之氏, 三宅誠治氏に御礼申し上げます.

参考資料

- 朝日新聞デジタル, 2025 年 1 月 24 日, 珍しい蛾「テングナミシヤク」なぜここに? 小さなビオトープで発見, <https://www.asahi.com/articles/AST1R3SCVT1RPPZB00GM.html> (参照 2025 年 1 月 26 日).
- 宇野宏樹, 2024. 兵庫県産蛾類の概観について —兵庫県産蛾類分布記録データベースの作成にあたって—. きべりはむし, 47 (2) : 12-27
- 宇野宏樹・池田 大・阪上洗多, 2024. 兵庫県産蛾類分布記録データベース. https://www.konchukan.net/moths/moths_of_hyogo.html (参照 2025 年 4 月 30 日).
- 大貝秀雄, 2018. 兵庫県赤穂郡上郡町の住宅団地内 1 区画における昆虫相, 94pp. 播磨長翅目研究センター.
- 岸田泰則 (編), 2011a. 日本産蛾類標準図鑑 I, 352pp. 学習研究社.
- 岸田泰則 (編), 2011b. 日本産蛾類標準図鑑 II, 416pp. 学習研究社.
- 岸田泰則, 2018. 日本のホシオビコケガについて - 含

- む 1 新種の記載 -. 蛾類通信, 285 : 233-236.
- 北河内昆虫記, シタジロコブガ, <https://osaka-insecta.sakura.ne.jp/moth/d-shitajirokobuga.html> (参 照 2025 年 4 月 21 日)
- 久保弘幸, 2024. みんなでつなぐ 初蝶リレー, きべりはむし, 47 (2) : 34-40.
- 小西岳史・葉山 卓, 2020. キモンカバナミシヤクの新産地. 蛾類通信, 294 : 475.
- 阪上洸多, 宮野昭彦, 後藤聖士郎, 岩下幸平, クルズスキー 淳子, 間野隆裕, 松井悠樹, Khine Mon Mon Kyaw, 那須義次, 奥 尉平, 富沢 章, 外村俊輔, 屋宜禎, 2020. 兵庫県で開催した第 79 回レピドプテリストセミナー (レピゼミ) で採集された蛾 . 誘蛾燈, 240 : 32-40.
- 鈴木信也・松井悠樹・朴 鎮亨・外村俊輔, JP みくろもす (仮), ツマボシホソハマキ, <https://sites.google.com/view/jpmicromoth/%E3%83%8F%E3%83%9E%E3%82%AD%E3%82%AC%E7%A7%91/%E3%83%84%E3%83%9E%E3%83%9C%E3%82%B7%E3%83%9B%E3%82%BD%E3%83%8F%E3%83%9E%E3%82%AD> (参照 2025 年 2 月 2 日)
- 高島 昭, 1998. 黒川の蛾 (兵庫県産蛾類分布資料・8). きべりはむし, 26 (1) : 23-38.
- 高島 昭, 2002. 兵庫県のカラスヨトウ亜科 (その 1) 兵庫県産蛾類分布資料・24. きべりはむし, 30(1) : 80-93.
- 高島 昭, 2003. 兵庫県未記録の蛾 兵庫県産蛾類分布資料・27, きべりはむし, 31 (1) 53-36
- 高橋輝男, 2023. 兵庫県美方郡香美町 (東鉢伏高原) におけるオオノコバヨトウの記録. 蛾類通信, 305 : 163.
- 高橋弘樹, 2022. 相生市「羅漢の里」公園で確認された蛾類の記録 (1) - 相生市三濃山麓の蛾 2020 - 2022 -. きべりはむし, 45(2):41-51.
- 高橋弘樹, 2023a. 相生市「羅漢の里」公園で確認された蛾類の記録 (2) - 相生市三濃山麓の蛾 2020 - 2023 -. きべりはむし, 46(1):1-12.
- 高橋弘樹, 2023b. 相生市「羅漢の里」公園で確認された蛾類の記録 (3) - 相生市三濃山麓の蛾 2020 - 2023 -. きべりはむし, 46(2):1-16.
- 谷田 昌也, 1986. 扇ノ山の蛾類分布資料 (I). IRATSUME, 10 : 30-37.
- 坪田 瑛・高橋輝男, 2021. 2021 年の東鉢伏高原における注目すべき蛾類について, きべりはむし, 44(2) : 18 - 24.
- 那須義次, 2021. 日本のハマキガ 1 モグリヒメハマキガ族 (鱗翅目, ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科), 171pp. 日本蛾類学会.
- 那須義次, 2022. 日本のハマキガ 2 ハラブトヒメハマキガ族, クラークヒメハマキガ族, トガリバヒメハマキガ族およびカギバヒメハマキガ族 (鱗翅目, ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科), 88pp. 日本蛾類学会.
- 那須義次, 2024. 日本のハマキガ 3 ヒメハマキガ族とモグリヒメハマキガ族の補遺 (鱗翅目, ハマキガ科, ヒメハマキガ亜科), 155pp. 日本蛾類学会.
- 那須義次・広渡俊哉・岸田泰則 (編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑Ⅳ, 522pp. 学習研究社.
- 那須義次・広渡俊哉・坂巻祥孝・岸田泰則 (編), 2023. 日本の小蛾類, 191pp. 株式会社 Gakken.
- 広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝, 岸田泰則 (編), 2013. 日本産蛾類標準図鑑Ⅲ, 360pp. 学習研究社.
- 藤平 明, 2002. 淡路島南部の蛾 (1999) の訂正と追加. PARNASSIUS, 50 : 12.
- 諸岡範澄・筒井学・阿部浩志, 2023. くらべてわかる蛾 1704 種, 92. 山と溪谷社.
- 八木 剛・中西明德・稲畑憲昭・杉野広一・植田義輔・勝又千寿代・木全俊明・古賀督尉・高島 昭・谷口登志夫・中濱春樹・福島秀毅・水野辰彦・森脇竹男・山崎敏雄・吉田 武, 2003. 砥峰高原の昆虫相 -2002 年の昆虫調査から -(第一部), きべりはむし, 31 (1) 1-46
- 山本義丸, 1997. 兵庫県氷上地方の蛾類 (2). きべりはむし, 25(1) : 11-22.



図 10. キマダラコウモリ, 上郡町, 2021/6/12.



図 11. アケボノヒラタマルハキバガ, 相生市, 2025/3/1.



図 12. メスコバネキバガ, 佐用町, 2025/4/5.



図 13. ナカジロハマキ, 宍粟市, 2021/10/30.



図 14. クシヒゲムラサキハマキ, 宍粟市, 2022/9/24.



図 15. クロシオハマキ, たつの市, 2022/4/11.

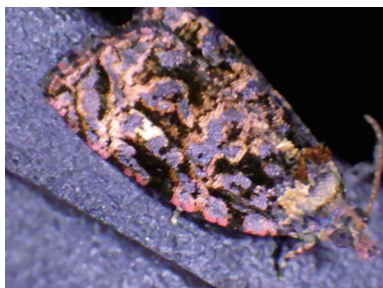


図 16. シロテンアカマダラヒメハマキ, 上郡町, 2022/10/3.



図 17. シロテンシロアシヒメハマキ, 相生市, 2023/9/3.



図 18. マエモンマダラカギバヒメハマキ, 上郡町, 2025/4/30.



図 19. ヒノキカワモグリガ (交尾中), 佐用町, 2023/6/24.



図 20. クロマダラシロヒメハマキ, 宍粟市, 2024/7/3.



図 21. ニセマツアカヒメハマキ, たつの市, 2022/5/23.



図 22. ニシキシマメイガ, 宍粟市, 2024/8/3.



図 23. シナミズメイガ, 佐用町, 2024/8/7.



図 24. クロテンシロミズメイガ, たつの市, 2021/9/13.



図 25. オオワタノメイガ, 栄栗市, 2022/6/18.



図 26. キササゲノメイガ, 上郡町, 2022/6/24.



図 27. キスジシロエダシャク, 上郡町, 2022/6/24.



図 28. ウスネズミエダシャク, 相生市, 2021/4/28.



図 29. シロジマエダシャク, 上郡町, 2021/7/10.



図 30. ナミスジエダシャク, 上郡町, 2022/8/5.



図 31. キイロミモンエダシャク, たつの市, 2022/4/28.



図 32. ウスムラサキエダシャク, 栄栗市, 2022/5/21.



図 33. ナシモンエダシャク, 佐用町, 2024/8/7.



図 34. ホシシャク, 上郡町, 2021/7/2.

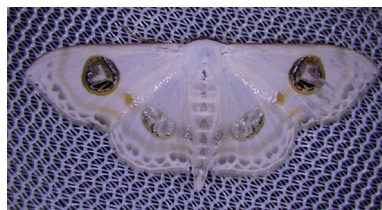


図 35. フタツメオオシロヒメシャク, 上郡町, 2022/9/16.



図 36. ウススジオオシロヒメシャク, 栄栗市, 2024/8/31.



図 37. アヤコバネナミシャク, 栄栗市, 2025/4/19.



図 38. シロテンコバネナミシャク, 上郡町, 2023/4/1.



図 39. シロシタコバネナミシャク, 栄栗市, 2025/4/19.



図 40. クロオビシロナミシャク, 栄栗市, 2025/4/19.



図 41. フタシロスジナミシャク, 栄栗市, 2022/8/21.



図 42. オオネグロウスベニナミシャク (左は裏面), 相生市, 2024/11/25.



図 43. トビモンシロナミシャク, 栄栗市, 2024/7/3.



図 44. ナナスジナミシャク, 栄栗市, 2022/9/30.



図 45. チビヒメナミシャク, 栄栗市, 2021/6/19.



図 46. フトオビヒメナミシャク, 栄栗市, 2022/8/21.



図 47. ナカオビカバナミシャク♀と交尾器, 上郡町, 2025/4/16.



図 48. ヒコサンカバナミシャク♀と交尾器(コルプス・ブルサエ), 上郡町, 2024/12/30.



図 49. マスイカバナミシャク, 相生市, 2023/10/26.



図 50. ヨホシナミシャク, 相生市, 2024/2/19.



図 51. テングナミシャク, 上郡町, 2021/9/27.



図 52. クシヒゲシャチホコ, 栄栗市, 2022/11/25.



図 53. ウスクロスジチビコケガ, たつの市, 2021/8/21.



図 54. クロテンシロコケガ, 上郡町, 2021/7/13.



図 55. クシヒゲホシオビコケガ, 栄栗市, 2021/6/19.

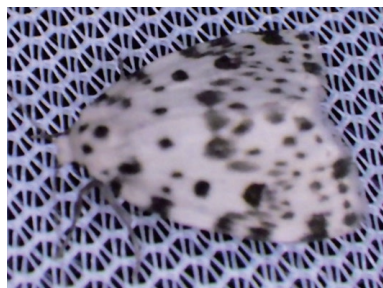


図 56. クシナシホシオビコケガ, 上郡町, 2024/6/26.



図 57. イチジクヒトリモドキ, たつの市, 2021/5/29.



図 58. ナミコブガ, 栄栗市, 2025/4/19.



図 59. フタモンコブガ, 上郡町, 2024/5/22.



図 60. イナズマコブガ, 上郡町, 2022/10/14.



図 61. オオマエモンコブガ, 栄栗市, 2022/7/30.



図 62. ウスアオリンガ, 上郡町, 2022/8/15.



図 63. キスジハナオイアツバ, 栄栗市, 2022/7/17.



図 64. オビアツバ, 栄栗市, 2022/8/19.



図 65. ナカグロクチバ, たつの市, 2021/10/4.



図 66. ミドリシロモンコヤガ, 栄栗市, 2023/9/17.



図 67. スミレモンキリガ, 上郡町, 2022/11/26.



図 68. オオノコバヨトウ, たつの市, 2021/9/13.



図 69. マエジロアカフキヨトウ, 栄栗市, 2022/11/25.